

11

發行所
振替東京八四〇二番
銀座
五〇四六番
一七三番
四五八番
七五三番

改造社

會員大募集

改訂新學期開始

講義の全科目を改訂し、推移する時代と共に更に大刷新を企圖せる我が帝國實業講習錄の内容を見よ!!

日本唯一の正則甲種商業講義現はる

萬人必須の最新商業知識と國民普遍學の寶庫

商學要項 內池博士 珠算暗算 村林教授
經濟學 河津博士 商店實務 依田講師
商業英語 岡田教授 店頭裝飾 山中講師
商業簿記 岡田教授 廣告術 井關講師
銀行簿記 岡田教授 商業心理 上野學士
工業簿記 吉田教授 商業文化 上野學士
商品學 星野教授 通文 杉山教授
商業原理 井井講師 實用習字 西脇講師
商業歷史 野村教授 工業常識 秋波教授
商業算術 柳家教授 工業實務 渡邊博士
法制講義 三澤博士 博物學理 橋田博士
國語講義 守屋教授 博物學理 鈴木教授
代數學 住江博士 化學 龜高博士
幾何學 藤野教授 物理學 山丸博士
博物學 末松教授 實踐道徳 澤澤教授
博物動物學 雨宮博士 修養講義 増田會長

一齋に開講された三十二科目の新講義!

●一年で正則甲種商業卒業の實力が得られる

●學費が驚く程廉い

●講師は斯界の第一人者

●全業界著名士の後援を有す

●質問には責任回答を有す

●時代に適應した其日からスグ卒業に立つ

本の特講義色

●總裁——子爵 澁澤榮一

●會長——實業巨匠 長増田義一

内容會費見本

●入會費 三ヶ月前分
●會費 一ヶ月前分
●入會費 三ヶ月前分
●會費 一ヶ月前分
●入會費 三ヶ月前分
●會費 一ヶ月前分
●入會費 三ヶ月前分
●會費 一ヶ月前分

人氣更に大沸騰——歎賞の聲は直に變じて知己隣人への勧誘となり怒濤の如き熱狂的申込はまさに特價提供部數十萬部を突破せんとす

『主婦の友』の新年號に……富山房書店から『日本家庭大百科事典』が出るやうになつたこの種の出版はかねて本社でも企てたが、富山房にその計畫の企てたことを知つた私たちは中止した。その理由は坂本社長の手で出版されるものを信じ且つ重んじたからである。實物を見ずとも、折紙を附けて後悔せぬを、それは多分私に該書に多くを期待してゐる。

(石川照臣氏 同誌二九頁より)

二百五十名家執筆

『キング』新年號に……大學出の人でも、自分の弟や妹から簡単な物理の質問をされて即座に答へ得る人は少ない。こんな時に英國の各家庭のやうに隠れたる家庭教師があればどんなに便利だか知れない。今度わが國でも富山房から發行された『日本家庭大百科事典』は、二百五十名の専門大家が執筆されたもので、不審な思ふ事はどんな事でも即座に掌を指すやう説明してありますから、類書中の白眉と推獎されてゐます。(同誌二五頁より)

申込は即時一刻も早く

科學知識特輯

拓殖科學號

附錄 日本貿易大勢圖

實地に精通した新進の専門家三十數氏に委嘱し、臺灣朝鮮・南滿洲・樺太・南洋諸島の天然資源を紹介し、工業・鑛業・農業・林業・水産業等に付き科學經營の現況を説明し將來の方策を講ず。附圖日本貿易大勢圖は一見して世界各國特產貨物の國際的流通を明にし我産業の現状を知らしめ日本の經濟的立場を自覺せしむ。

定價 九十錢 送料 東京日本橋區室町三共別館 科學知識普及會
三錢 振替 東京四六〇二番

別冊 昭和三十二年園藝藝便覽

此冊は、昭和三十一年の園藝の進歩を、一年間の経験から採集された事實を基として、一月分けて、別冊として、刊行した。其の内容は、一、新種の紹介、二、栽培法の改良、三、病害の防除、四、肥料の施用、五、剪定の技術、六、その他の事項、七、附録、八、索引、九、後記、十、参考文献、十一、謝辞、十二、編集者の謝辞、十三、編集者の略歴、十四、編集者の連絡先、十五、編集者の連絡先、十六、編集者の連絡先、十七、編集者の連絡先、十八、編集者の連絡先、十九、編集者の連絡先、二十、編集者の連絡先、二十一、編集者の連絡先、二十二、編集者の連絡先、二十三、編集者の連絡先、二十四、編集者の連絡先、二十五、編集者の連絡先、二十六、編集者の連絡先、二十七、編集者の連絡先、二十八、編集者の連絡先、二十九、編集者の連絡先、三十、編集者の連絡先、三十一、編集者の連絡先、三十二、編集者の連絡先、三十三、編集者の連絡先、三十四、編集者の連絡先、三十五、編集者の連絡先、三十六、編集者の連絡先、三十七、編集者の連絡先、三十八、編集者の連絡先、三十九、編集者の連絡先、四十、編集者の連絡先、四十一、編集者の連絡先、四十二、編集者の連絡先、四十三、編集者の連絡先、四十四、編集者の連絡先、四十五、編集者の連絡先、四十六、編集者の連絡先、四十七、編集者の連絡先、四十八、編集者の連絡先、四十九、編集者の連絡先、五十、編集者の連絡先、五十一、編集者の連絡先、五十二、編集者の連絡先、五十三、編集者の連絡先、五十四、編集者の連絡先、五十五、編集者の連絡先、五十六、編集者の連絡先、五十七、編集者の連絡先、五十八、編集者の連絡先、五十九、編集者の連絡先、六十、編集者の連絡先、六十一、編集者の連絡先、六十二、編集者の連絡先、六十三、編集者の連絡先、六十四、編集者の連絡先、六十五、編集者の連絡先、六十六、編集者の連絡先、六十七、編集者の連絡先、六十八、編集者の連絡先、六十九、編集者の連絡先、七十、編集者の連絡先、七十一、編集者の連絡先、七十二、編集者の連絡先、七十三、編集者の連絡先、七十四、編集者の連絡先、七十五、編集者の連絡先、七十六、編集者の連絡先、七十七、編集者の連絡先、七十八、編集者の連絡先、七十九、編集者の連絡先、八十、編集者の連絡先、八十一、編集者の連絡先、八十二、編集者の連絡先、八十三、編集者の連絡先、八十四、編集者の連絡先、八十五、編集者の連絡先、八十六、編集者の連絡先、八十七、編集者の連絡先、八十八、編集者の連絡先、八十九、編集者の連絡先、九十、編集者の連絡先、九十一、編集者の連絡先、九十二、編集者の連絡先、九十三、編集者の連絡先、九十四、編集者の連絡先、九十五、編集者の連絡先、九十六、編集者の連絡先、九十七、編集者の連絡先、九十八、編集者の連絡先、九十九、編集者の連絡先、一百、編集者の連絡先、

溫室とムーレフの園藝

別冊 昭和三十二年園藝藝便覽

此冊は、昭和三十一年の園藝の進歩を、一年間の経験から採集された事實を基として、一月分けて、別冊として、刊行した。其の内容は、一、新種の紹介、二、栽培法の改良、三、病害の防除、四、肥料の施用、五、剪定の技術、六、その他の事項、七、附録、八、索引、九、後記、十、参考文献、十一、謝辞、十二、編集者の謝辞、十三、編集者の略歴、十四、編集者の連絡先、十五、編集者の連絡先、十六、編集者の連絡先、十七、編集者の連絡先、十八、編集者の連絡先、十九、編集者の連絡先、二十、編集者の連絡先、二十一、編集者の連絡先、二十二、編集者の連絡先、二十三、編集者の連絡先、二十四、編集者の連絡先、二十五、編集者の連絡先、二十六、編集者の連絡先、二十七、編集者の連絡先、二十八、編集者の連絡先、二十九、編集者の連絡先、三十、編集者の連絡先、三十一、編集者の連絡先、三十二、編集者の連絡先、三十三、編集者の連絡先、三十四、編集者の連絡先、三十五、編集者の連絡先、三十六、編集者の連絡先、三十七、編集者の連絡先、三十八、編集者の連絡先、三十九、編集者の連絡先、四十、編集者の連絡先、四十一、編集者の連絡先、四十二、編集者の連絡先、四十三、編集者の連絡先、四十四、編集者の連絡先、四十五、編集者の連絡先、四十六、編集者の連絡先、四十七、編集者の連絡先、四十八、編集者の連絡先、四十九、編集者の連絡先、五十、編集者の連絡先、五十一、編集者の連絡先、五十二、編集者の連絡先、五十三、編集者の連絡先、五十四、編集者の連絡先、五十五、編集者の連絡先、五十六、編集者の連絡先、五十七、編集者の連絡先、五十八、編集者の連絡先、五十九、編集者の連絡先、六十、編集者の連絡先、六十一、編集者の連絡先、六十二、編集者の連絡先、六十三、編集者の連絡先、六十四、編集者の連絡先、六十五、編集者の連絡先、六十六、編集者の連絡先、六十七、編集者の連絡先、六十八、編集者の連絡先、六十九、編集者の連絡先、七十、編集者の連絡先、七十一、編集者の連絡先、七十二、編集者の連絡先、七十三、編集者の連絡先、七十四、編集者の連絡先、七十五、編集者の連絡先、七十六、編集者の連絡先、七十七、編集者の連絡先、七十八、編集者の連絡先、七十九、編集者の連絡先、八十、編集者の連絡先、八十一、編集者の連絡先、八十二、編集者の連絡先、八十三、編集者の連絡先、八十四、編集者の連絡先、八十五、編集者の連絡先、八十六、編集者の連絡先、八十七、編集者の連絡先、八十八、編集者の連絡先、八十九、編集者の連絡先、九十、編集者の連絡先、九十一、編集者の連絡先、九十二、編集者の連絡先、九十三、編集者の連絡先、九十四、編集者の連絡先、九十五、編集者の連絡先、九十六、編集者の連絡先、九十七、編集者の連絡先、九十八、編集者の連絡先、九十九、編集者の連絡先、一百、編集者の連絡先、

寒さ牙え返る昨夜 新總監の京城入り

純白の頭髪堂々たる偉容を迎へて 驛頭歡迎に湧き返る

総監の京城入りは、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。総監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。総監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

諸君の方が 餘程酒呑みだ

池上總監車中談

池上總監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。総監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

仁川代表の 總監出迎へ

大田の出迎へ

仁川代表は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。総監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。



京城驛頭に第一步を印したる池上政務總監

後藤子歓迎 レングラ

レングラ

後藤子は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。総監は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

日本財界の 最大危機は去った

紐育日本協會席上 ラモント氏の演説

日本財界の最大危機は去った。紐育日本協會席上、ラモント氏が演説した。日本財界の最大危機は去った。紐育日本協會席上、ラモント氏が演説した。

禁止さるべき戦争は 侵略戦のみを意味す

米國の不戦宣言書に對し 佛國が第二の回答

禁止さるべき戦争は、侵略戦のみを意味する。米國の不戦宣言書に對し、佛國が第二の回答を出した。禁止さるべき戦争は、侵略戦のみを意味する。米國の不戦宣言書に對し、佛國が第二の回答を出した。

共鳴的意見 國際聯盟で

英に通告 聯合國の政策と一致す

共鳴的意見、國際聯盟で。英に通告、聯合國の政策と一致する。共鳴的意見、國際聯盟で。英に通告、聯合國の政策と一致する。

勞農露國の一年 泉 哲

勞農露國の一年。泉 哲。勞農露國の一年。泉 哲。勞農露國の一年。泉 哲。

復職した蔣介石氏

復職した蔣介石氏。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

復職した蔣介石氏

復職した蔣介石氏。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

復職した蔣介石氏

復職した蔣介石氏。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。蔣介石氏は、昨晩の寒さで、白髪が雪のように白く、頭髪は純白で、堂々たる偉容で、驛頭に迎えられた。

吉海線工事 材料輸送に努む

満鐵をはかりて 京奉海線にて

吉海線工事、材料輸送に努む。満鐵をはかりて、京奉海線にて。吉海線工事、材料輸送に努む。満鐵をはかりて、京奉海線にて。

吉林省内の 三鐵道實現か

開發上の大恩恵

吉林省内の三鐵道實現か。開發上の大恩恵。吉林省内の三鐵道實現か。開發上の大恩恵。

運送合同 小委員打合せ

差益調査完成し 具體的に進行方法協議

運送合同、小委員打合せ。差益調査完成し、具體的に進行方法協議。運送合同、小委員打合せ。差益調査完成し、具體的に進行方法協議。

支那問題 諒解を求む

支那問題、諒解を求む。支那問題、諒解を求む。支那問題、諒解を求む。

民營が當然 本下長官語る

取所は

民營が當然、本下長官語る。取所は。民營が當然、本下長官語る。取所は。

歐亞連絡増強 ハルビンに新駅

支那の交通網を擴大

歐亞連絡増強、ハルビンに新駅。支那の交通網を擴大。歐亞連絡増強、ハルビンに新駅。支那の交通網を擴大。

台北に支那領 事館設置申込

支那の外交政策を擴大

台北に支那領事館設置申込。支那の外交政策を擴大。台北に支那領事館設置申込。支那の外交政策を擴大。

芥川龍之介 本日刊行十二頁

芥川龍之介、本日刊行十二頁。芥川龍之介、本日刊行十二頁。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

仁川港客年中 輸移出入米高

輸移出入米高

仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。仁川港客年中、輸移出入米高。輸移出入米高。

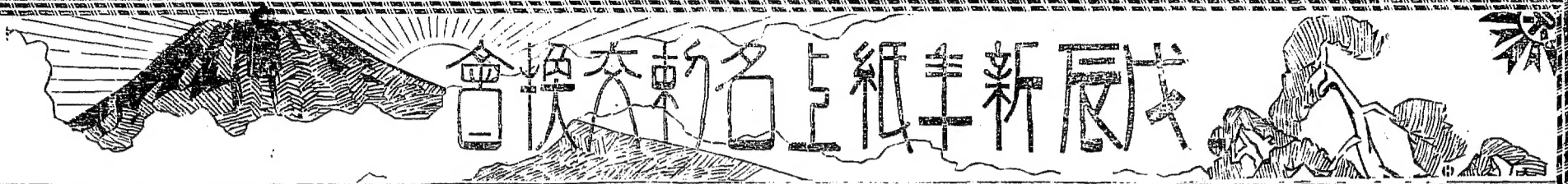
PAGE NO.

會換交刺名主紙手新辰戌

長井文植	松本芳雄	林 繁 彦	吉田耕二郎	朝野慶南晋川錦町 辯護士 原田定造法律事務所 電話五七五	決下五郎	池田富太郎	二本 勇 吉	神宮興太郎	金志雄
木下芳雄	松本伊織	龍岩浦野郎 内田後一	平安北道龍岩浦 平安漁業株式會社	八坂おき子 キリンビール株式會社支店	金山 老若松	津田元吉	野川弘	金洛鼎	香山弘
大田 才吉子	大田 白石鐵二郎	大田 北島常吉	大田 伊賀空後	大田 竹内清吉	大田 石塚重太郎	大田 長野幸四郎	大田 井上澄雄	大田 古家清輔	大田 石原源三郎
大田 須木權次郎	大田 三島竹男	大田 青柳敬造	大田 高島為市	大田 李幸喜	大田 石原源三郎	大田 山口庄三郎	大田 山口庄三郎	大田 山口庄三郎	大田 山口庄三郎

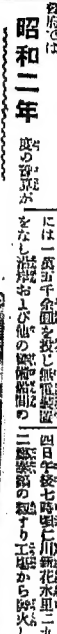
<p>京城手形交換組合銀行</p>											
<p>江原道廳食堂員</p>											
<p>迎日水利組合 職員一同</p>		<p>忠清北道永同郡 永同面職員一同</p>		<p>同永綿益京 社曾式株業棉北南 場工棉線</p>		<p>燕岐郡廳 畜產組合 郡農會 森林組合</p>		<p>旭魚市場 電話四二番</p>		<p>木浦電燈株式會社</p>	
<p>昭和會</p>		<p>板井信藏</p>		<p>上田熊二郎</p>		<p>山田馬藏</p>		<p>新義州府廳員一同</p>		<p>新義州電氣株式會社</p>	
<p>安東工友會</p>		<p>大正水利組合 不二西鮮農場 平北開岩前</p>		<p>新義州和蘭職員一同</p>		<p>滿鮮殖產電氣株式會社 朝鮮州</p>		<p>柴田祐光 朝鮮州</p>		<p>鳴緣江製紙株式會社 安東縣大洞洞</p>	
<p>安東挽材株式會社</p>		<p>國際運輸株式會社 新義州出張所</p>		<p>新義州木材聯合會</p>		<p>金子商店 安東縣大洞洞</p>		<p>新義州旅館組合</p>		<p>權萬注 山陰縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶南陝川郡廳員</p>		<p>晉州郵便局 員一同</p>		<p>崔斗淵 宜寧縣寺</p>	
<p>金堤邑內 金萬自動車組合</p>		<p>金堤邑內 金萬自動車部</p>		<p>金堤本町 大正旅館</p>		<p>慶</p>					

三

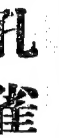


會 換 交 新 名 主 紙 主 新 展 成

小田有吾	西澤新藏	池田泰治郎	水沼千鶴	戶島祐次郎	古川保貞	杉野多希	澤田豐丈	原田 剛
渡 士 豊 子	岩瀬基樹	先 水 軍 下	富次素平	綾田 豊	多 友 信	蒲原久四郎	小 串 政 次	小 串 政 次
河 東 守 白 雪 日	村上九八郎	小川紀六	藤好虎秀	河 野 守 白	南 相 鶴	新 田 義 民	伊 東 義 之 助	伊 東 義 之 助
江本德藏	長 濱 之 郎	根津嘉一郎	普 濟 堂	普 濟 堂	木下芳造	橫山寅吉	渡邊彌亮	林田寅道
和 田 敬 三	鹽谷貞之丞	理事 常石 茂	神 谷 仙 次 郎	渡 邊 彌 亮	林 田 寅 道	大 連 工 業 株 式 會 社	大 連 工 業 株 式 會 社	大 連 工 業 株 式 會 社




100



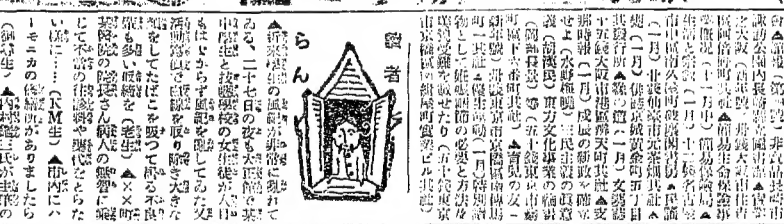
古川實作
大村安次郎書

「お吉様でござります。二、三
まいりなさい。厭へよくいらして下さ
います。」
「そういひながらお静の御心で来
た紅米の皿を受けて、孔雀は這の
つを靴土と自分とにわけた。そ
こへ妙な方面を穿へになるの
精は一タテク、突ひ出した。」「
俺がそんなにおかしいんです
。つともおかしなないわ。ひい、

して彼にのつてゐる。今一つツツアアに兎つて龍跡をひねくり廻してゐる龍一の口へ挿つて行く様に眼で言つてゐるが、わしが「早退だか、わしがおたづなした原配がせうき龍一にお話します。この二十日にわしの家で龍跡をやりたいと思ふが、高日の金興として何かいづたときをやつたらと思ふのだが



誰かやつて貰へない
 のやうか？ 兎手には
 聖女の尊に入つた物
 を三人日本歸郷か
 らつて来ればなけれ
 ばと思はれるが」
 執事は固くかゝ腹ふ
 だを付けて孔僧の返
 答を待たう。
 「私のやうな老僧が
 だよかつたら慕ひで
 お供をして致しなすわ
 孔僧は誠面にある
 やうな微笑を見せて
 謝辭していった。
 それと異なすな。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

産兒制限

志在普及 東京市立豊島区立竹園町児童養育所
 養育所長 佐藤 幸次郎 先生より
 養育所 養育士 佐藤 幸次郎 先生より
 養育所 養育士 佐藤 幸次郎 先生より

冬!!

かぜ引
 セキには
 是非!!

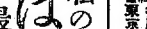


大川吸入器

社社に品似類
 りまに店成將科店客店類全

水野文部大臣 大正十一年閣議
市町村會 改正法施行期滿職必擔任
無代進呈

胃腸病と
婦人病に
折紙付効力



夫の病を治すには、婦人の病を治すには、折紙付効力。胃腸病と婦人病に折紙付効力。胃腸病と婦人病に折紙付効力。

私のなほつた
はい病の
最良薬を
お教へ致します

五十年の経験から、折紙付効力。胃腸病と婦人病に折紙付効力。胃腸病と婦人病に折紙付効力。

副業と内職

白山商會

金屋商店

金屋商店

[illegible]

<p>集募員會</p> <p>書道研究</p> <p>特色丁字筆 小野 成壽 特典 大室 尚律 廣中 亨 當流書道通信教授</p> <p>楷(行)草(假名)其他 發售は定例的に止む て、臨時に、同人会報を附載</p> <p>品近第水中本を送付人 二月三日前に郵局宛 華斯社 法人函社 〇三七一五東京有明</p>	<p>電路谷三町 土地 高島房斷所本部神宮館</p> <p>建之友無代進呈</p>	<p>野球選手の福音</p> <p>アームビルダー 六大学選手指授 羽根敬業選手 の 説明書</p>  <p>カネバ 品</p> <p>水練式投球練習器 は「アームビルダー」 と稱し初歩の本 機を使用して規則 の練習をなす時は 従来の弱筋なる野 球選手もいくばく もなくして強筋の 特長者となり投球 速度が如くならし む。</p> <p>水練式又各種の望 内運動としても好 適なり。</p> <p>宝仙内務省認可第101490号 Each ¥ 8.00</p> <p>東京本郷湯島天神町 石井カジマヤ商店</p>	<p>雑誌 定價 半割 創刊 月費 無代進呈 月刊 進呈早 近江屋書店 部 近江屋一州</p> <p>東京市京橋區 新富町一丁目</p>	<p>みやぶ染 針染</p> <p>發行所 羽根敬業新報社</p>	<p>議事法講座</p> <p>▲東京府立第一高等學校 ▲東京府立第二高等學校 ▲東京府立第三高等學校 ▲東京府立第四高等學校 ▲東京府立第五高等學校 ▲東京府立第六高等學校 ▲東京府立第七高等學校 ▲東京府立第八高等學校 ▲東京府立第九高等學校 ▲東京府立第十高等學校 ▲東京府立第十一高等學校 ▲東京府立第十二高等學校 ▲東京府立第十三高等學校 ▲東京府立第十四高等學校 ▲東京府立第十五高等學校 ▲東京府立第十六高等學校 ▲東京府立第十七高等學校 ▲東京府立第十八高等學校 ▲東京府立第十九高等學校 ▲東京府立第二十高等學校</p>	<p>蠶業新報</p> <p>新年號發行</p> <p>西田 杉山 大黒堂</p>
--	---	--	---	--	--	--

たんせき
ぜんそく
龍角散は一生の道連
龍角散は風邪、流行性感冒のたんせき、
ぜんそく等、各症の呼吸器疾患の痰咳
は勿論の事、子供百日せき、はしかせき、
老人の虚勞性から出る老咳

たんせき、ぜんそくを
 油断すると肺炎、肺
 膜炎、肺結核を併發
 せしめ一生の大事を
 惹起す故に龍角散
 の服用を怠るな

龍角散

龍角散は飛龍の翼躍より成る。故に
 少遠にても効果著しき。且つ肺病、や
 かに腹付ければ如何なる騒々ひの入り
 供にも良し、服む處にに際限ハナシ
 として喉癢の消しみを完全に除く。

よみ試す必は人るゝか

● たんにて常にオホシゴキと惱む人
 ● ぜんそくにてゼイゼイと息切する人
 ● せき頻に出で夜中眠り兼ねる人
 ● 流行感冒より起るたんせきの人
 ● 肺病にて常に力なきせき出づる人
 ● たん臭氣を帯び吐血の交る人
 ● 音聲のかれ又は咽喉のいたむ人
 ● 老人又は虚勞性のたんせきの人
 ● 百日せき又ははしかせきの小兒

其他の呼吸器疾患のたんせきは如何なる薬にても
 是より二週間讀いて服用ば其効果顯著なり

東京市神田區西區町
 本舖 藥精師
 藤井得三郎
 電話 神田九一〇
 電話花 一八〇五

價定
 八五二一三
 五五二一三
 三二九三二
 三二九三二
 三二九三二

▽全國各薬店に有り△

[illegible]

森信汽船會社

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

仁川汽船會社

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

仁川汽船出帆

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

協同海運會社

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

仁川出帆

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

仁川出帆

各埠往來定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻

往來各埠定期航線

大船 二隻
小船 二隻